

PRESS RELEASE

2025 年 5 月 13 日

株式会社 ispace

ispace、みずほ銀行からの借入による 50 億円の資金調達を決定

株式会社 ispace（東京都中央区、代表取締役：袴田武史、以下 ispace）（証券コード [9348](#)）は本日、株式会社みずほ銀行より 50 億円の資金調達を実施することを取締役会において決議いたしましたのでお知らせいたします。

本借入は、ミッションの開発（含むその他関連費用）に係わる運転資金として調達するものです。これにより、手元資金の充実および財務基盤の安定化を図り、機動的な経営判断を可能とすることで、技術の品質の継続的な向上と市場ニーズへの的確な取り込みを加速させることを目的としています。また、継続的な投資を可能とする強固な財務体質の構築も目指しています。なお、本資金調達の実行は 2025 年 5 月 15 日を予定しております。

資金借り入れの内容は以下の通りです。

① 借入先	株式会社みずほ銀行
② 借入金額	50 億円
③ 借入金利	変動金利（基準金利＋スプレッド）
④ 契約締結日	2025 年 5 月 14 日
⑤ 借入実行日	2025 年 5 月 15 日（予定）
⑥ 借入期間	3 年 8 カ月
⑦ 資金用途	運転資金
⑧ 返済方法	期日一括返済
⑨ 担保・保証	無担保・無保証

■ 株式会社 ispace 取締役 CFO 事業統括エグゼクティブ 野崎順平のコメント

「この度みずほ銀行様からの 50 億円の追加借入を実現出来たことは、現在運用中のミッション 2 以降に控える後続ミッションや当社ビジョンに対して、みずほ銀行様より高い評価と信頼を頂いている表れと考えており、心から感謝を申し上げたいと思います。今後のミッションについても、引き続き運用中のミッション 2 からの学びを活かし、技術の向上やプロセス改善を実現してまいります。」

ispace は、日・米・欧の 3 法人でそれぞれの地域の文化や多様性を活かしながら、1 つの統合的なグローバル企業として宇宙開発を進めてまいりました。2025 年 1 月 15 日に日本法人が主導するミッション 2 の打ち上げを完了し、最短で 2025 年 6 月 6 日に月面着陸へ再挑戦の予定です。2027 年には、米国法人が主導するミッション 3 および、現在日本で開発中のシリーズ 3 ランダー（仮称）を用いたミッション 4（旧ミッション 6）を予定しています。世界中の政府、企業、教育機関からの高まる需要に応えるため、ispace はペイロードサービス契約とデータサービスを提供してまいります。

■ 株式会社 ispace (<https://ispace-inc.com/jpn/>)について

「Expand our planet. Expand our future. ~人類の生活圏を宇宙に広げ、持続性のある世界へ~」をビジョンに掲げ、月面資源開発に取り組んでいる宇宙スタートアップ企業。日本、ルクセンブルク、アメリカの 3 拠点で活動し、現在約 300 名のスタッフが在籍。2010 年に設立し、Google Lunar XPRIZE レースの最終選考に残った 5 チームのうちの 1 チームである「HAKUTO」を運営した。月への高頻度かつ低コストの輸送サービスを提供することを目的とした小型のランダー（月着陸船）と、月探査用のローバー（月面探査車）を開発。民間企業が月でビジネスを行うためのゲートウェイとなることを目指し、月市場への参入をサポートするための月データビジネスコンセプトの立ち上げも行う。2022 年 12 月 11 日には SpaceX の Falcon 9 を使用し、同社初となるミッション 1 のランダーの打ち上げを完了。続くミッション 2 は 2025 年 1 月 15 日に打ち上げを完了し、最短 2025 年 6 月 6 日に、月面着陸へ再挑戦の予定。ミッション 3 およびミッション 4（旧ミッション 6）は 2027 年に打ち上げを行う予定。

ミッション 1 の目的は、ランダーの設計および技術の検証と、月面輸送サービスと月面データサービスの提供という事業モデルの検証および強化であり、ミッション 1 マイルストーンの 10 段階の内 Success8 まで成功を収めることができ、Success9 中においても、着陸シーケンス中のデータも含め月面着陸ミッションを実現する上での貴重なデータやノウハウなどを獲得することに成功。ミッション 1 で得られたデータやノウハウは、後続するミッション 2 ヘフィードバックされている。更にミッション 3 では、より精度を高めた月面輸送サービスの提供によって NASA が行う「アルテミス計画」にも貢献する計画。

¹ 2025 年 5 月時点の想定